

4年間の流れ

2024年度(予定)

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:70単位
 全学共通科目:32単位
 広域選択:22単位

■必修:32単位
 ■選択必修:8単位
 ■選択:30単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	ネイティブ講師担当の「スピーチ・アンド・コミュニケーション」と「オーラル・イングリッシュ」によって実際の英語運用能力を強化し、「英語演習」と「作品講読」で3年次から本格化する専門分野の研究において必要な基礎知識とリテラシーをじっくりと身に付ける。		多彩な特殊講義科目や演習科目のほか、自分の関心・興味に従って選択できる少人数の「3年次ゼミ」で深い専門知識と研究方法を学ぶ。	「4年次ゼミ」において3年次までの授業で学んだ研究をさらに深め、個人指導のもと4年間の学びの集大成である卒業論文に取り組む。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 英語演習 ① スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ 英語学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 作品講読 ② スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ 英語史 英語表現法 ③ 	<ul style="list-style-type: none"> 3年次ゼミ 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文
選択必修		<ul style="list-style-type: none"> イギリス文学史Ⅰ イギリス文学史Ⅱ アメリカ文学史 <p>この中から2科目を選択します</p>		
選択		<ul style="list-style-type: none"> イギリス文学特講Ⅰ～Ⅴ アメリカ文学特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ 演劇特講(イギリス・アメリカ) ④ イギリス文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ アメリカ文学演習Ⅰ～Ⅴ 	<ul style="list-style-type: none"> 演劇演習(イギリス・アメリカ) 時事英語 ⑤ 商業英語 ギリシャ語 ラテン語 	<ul style="list-style-type: none"> 外国文学 現代美術 ⑥ 英米思想史 日本文化史 翻訳演習 ⑦
		<ul style="list-style-type: none"> 英米文化 	<ul style="list-style-type: none"> 英語学演習Ⅰ～Ⅳ オーラル・イングリッシュ ⑧ TOEIC®・TOEFL® 講座 キャリア・プランニング 4年次ゼミ 	
			<ul style="list-style-type: none"> 英作文演習 ⑨ 	

① 英語演習

英米文学を原文で読むには高い英語力が求められます。聞く、話す、読む、書くの4技能を総合的に学習し、英語力の基礎を固めます。発音やプレゼンテーションの練習も行います。

④ 演劇特講

ブロードウェイをはじめ、独自の発展を遂げたアメリカ演劇。それを代表する2人の作家の作品を、映像や英文テキスト、当時の時代背景などから読み解き、面白さを探ります。

⑦ 翻訳演習

単語力だけではできない翻訳。この講義では、後期の前半まで翻訳技法をじっくり身に付け、後半では論文の一部や短編の物語を翻訳。直訳ではなく、日本語らしい翻訳を目指します。

② 作品講読

易しい言葉で書かれたものから複雑な心理描写を含む作品まで、英語の短編小説を幅広く講読。物語の構成や会話の背景に潜む意味、主題の読み取りなど、基本的な読解力を身に付けます。

⑤ 時事英語

毎回、実際の英語ニュースの聞き取りをしながら、そこで使われている英語を修得していきます。世界の時事問題も取り上げるので、見える世界がぐっと広がります。

⑧ オーラル・イングリッシュ

ネイティブが講師となり、時事トピックなどを表題にして、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行います。また、米国の漫画からユーモア表現を理解します。

③ 英語表現法

日本人によく見られる英語表現の誤りを取り上げ、名詞、動詞、時制など項目別に講義します。日本語と英語の違いを理解し、正しい文法と語法を身に付け、自然な英語表現を学びます。

⑥ 現代美術

キュビズム、シュルレアリスム、ポップ・アートなど、20世紀以降の美術作品を鑑賞。技術革新やメディアの発達、環境問題など同時代の様相との関わりも含め、その変革をたどります。

⑨ 英作文演習

家族、趣味、仕事、恋愛、旅行など毎回異なるトピックで、海外の友人宛に英文メールを書いてもらいます。並行してリスニング演習も実施。実社会で役立つ英語力を身に付けます。

卒業論文テーマ・研究課題例

- ジョン・スタインベック研究
- 『ロミオとジュリエット』から見る愛と死
- 日本の前置詞教育-at, in, on を中心に
- イギリス階級社会の成り立ちと現状

- アメリカ映画におけるアジア人表象
- ウィリアム・ワーズワースのカッコウと自然について
- ワイルド作品に見る自己犠牲
- 『緋文字』にみるピューリタニズム

- アフリカ系アメリカ人の英語
- A Study of The Mark on the Wall by Virginia Woolf